

社会福祉法人光朔会オリンピア 議事録

館長	部門長	リーダー

記入日： 2016年 10月 8日

会議名	グループホームオリンピア兵庫 第62回運営推進会議	記入者	稲田 麻里 印
日時	2016年 10月 8日(土)10:00~11:00	場所	Cafe Olympia
参加者	<p>【入居者】(ユニット1)中井正士様 (ユニット2)眞川弘子様、長谷伸子様、吉本美齡子様</p> <p>【ご家族】天野淳子様(吉本美齡子様)</p> <p>【地域包括】能丸明子様(浜山あんしんすこやかセンター)【地域代表】山本知枝(Cafe Olympia・店長)</p> <p>【知見を有する者】中村文香(大阪大学大学院人間科学研究科)</p> <p>【社会福祉法人光朔会】山口 元(理事長) 【オリンピア灘】山口裕子(保育事業本部長・ホーム長)</p> <p>【オリンピア兵庫】西塚裕真(グループホーム管理者)</p> <p>稲田麻里(ユニット1リーダー)、高田茉依(ユニット2リーダー)</p>		
配付資料	レジュメ、月刊オリンピア兵庫123号・124号(2016年9月・10月発行)		
議 事			
1. ごあいさつ(西塚裕真・グループホーム管理者)			
2. 運営推進委員の自己紹介(各出席者)			
GH1の中井正士様が初めて参加して下さった。今回は4名のご入居者の方にご出席いただいた。			
3. 行事のご報告(西塚裕真・グループホーム管理者)			
8月、9月共に神戸松蔭女子学院大学の学生が介護等体験で来て下さったり、山口館長が講師をしている大阪大学人間科学部の学生が見学に来られた。9月は上海旅行や昨年講評であった「夜カフェ」などイベントの多い月であった。			
4. ユニットからのご報告(稲田麻里・ユニット1リーダー、高田茉依・ユニット2リーダー)			
(稲田)8月は法人内で作っているフットサルチームの応援にでかけたり、刺繍の得意なスタッフが中心となり刺繍をしたり、中井様が「肩が痛い」と仰ったので山片様が肩もみをしてくださっている。現在、お誕生日にはプレゼントの代わりにその方のお好きなものを食べに出かけている。塚本様はお好み焼きがお好きなので食べにでかけた。			
9月は、塚本様の食欲が低下していたので、おやつ時間にみなさんと一緒にお好み焼きを焼いたり、笠松商店街のふれあい祭りに吉田中学校のブラスバンドの演奏を聞きにでかけたりした。			
(高田)8月は気分を変えてCafe Olympiaでおやつを食べたり、鷲尾様は以前、ガーデニングをされていたと伺い、ベランダでガーデニングを初め、毎日、水やりをしてくださっている。その方の生活歴を大切にしていこう。			
9月は、敬老の日にはみなさんとちらし寿司を作ったり、Cafe Olympiaで敬老の日のお菓子を用意していただいた。お誕生日にはご家族にお越しいただきお祝いさせていただいている。また、長谷様はメガネを作りにでかけたり、近所にお買い物に出かけた。			
5. 上海旅行のご報告(稲田)			
以前から上海出身のスタッフが「是非、上海へ行きましょう」「本場の蟹を食べに行きましょう」という熱い思い			

議 事

にご入居様2名が応えてくださり2泊3日の上海旅行に行った。豫園という全国の重要文化保護材にも指定されている歴史ある庭園を訪れると、車椅子のおふたりが、「歩くよ」と仰り、段差や階段が多い場所でご自身の足で歩いて庭園を散策された。夜はあいにくの雨であったが、三橋様が「私は、晴れ女だから晴れるわよ」とのお言葉通りに夜景クルーズの直前に雨がやんだ。夜景をご覧になり「神戸が一番だと思っていたが、神戸も頑張らないといけないな」「オリンピアで歩く20倍は歩いたわ」と仰っていた。また、帰りの飛行機はタラップをスタスタと歩いて登られたのには、現地の方も年齢を聞いて驚いていた。帰国されてから外出の際に国内外の旅行のパンフレットを持って帰ってこられている。

(西塚)疲れて帰ってこられるかと思っていたが、晴れやかに笑顔で帰ってこられた。中井様が「自分らの歳になっても何でもできるんやな」というお言葉を聞くことができ、今後もいろいろなことにチャレンジ出来るよう支援していきたい。

6. 意見交換

中村氏「11月5日にフィリピンのミンダナオ島にある孤児院House of joyの管理者をされている澤村 信哉氏をお迎えしSalon del'Olympiaを開催する。ハンドメイドの竹サクスの演奏とHouse of joyについての講演を予定している。ぜひ、お誘い合わせの上お越しください。また、今年度も10月30日から11月6日までスウェーデン研修を行います。今年度は都子ども園、篠原、兵庫から各1名ずつ3名が参加する。」

能丸氏「上海旅行の写真を見てイキイキされていると感じた。三橋様は心臓に持病をお持ちだったと思うがどのように対応されたのか？」

西塚管理者「主治医に診断書を書いていただき、旅行会社にも事前に普段飲んでいるお薬等を伝えていた。」

天野氏「お誕生日に入居してから11年間のアルバムをプレゼントしていただき感激した。あと、4年で100歳を迎える。がんばれるのではないかと思います。あと、スタッフが安定してほしい。」

長谷様「ここに来てよかった。食事でも食べられるようになり、娘も安心している。」

西塚管理者「スタッフは明るい兆しが見えてきている。」

山口理事長「上海は日中国交正常化が締結される以前に山口光朔氏が中国広州外国語学院の名誉博士に任命されるなど、中国との親交があるので、我々にとってもうれしい。」

○第63回運営推進会議 12月10日(土)10:00